



こんにちはば!!

やまがたむら



議会です

発行：長野県山形村議会（代表）三澤一男

編集：議会広報編集特別委員会



寅年の幕開け 日の出

小坂日向地区から八ヶ岳方面を望む
2022.1.5



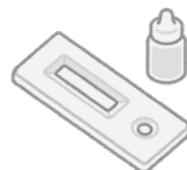
- 第4回 議会定例会 2
 コロナ禍・異常気象の一年最後の議会
- 一般質問の要約 3～7

- 山形村三団体懇談会／
 区三役・議会議員合同研修会 7
- キャッチボール 8

コロナ禍・異常気象の一年最後の議会

令和3年 第4回議会定例会

第4回定例会を12月6日に開会し、12月14日まで9日間開催した。
請願1件、承認1件、議案9件を審議のうえ可決した。
一般質問は、コロナ禍が収まりつつあることから、通常に戻し
12月7日～8日にかけて10人が村政全般について質問を行なった。



請 願

☆山形村に対して「気象非常事態宣言」を要請する決議を求める請願書

承 認

☆令和3年度山形村一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて

議 案

☆松本広域連合松本地域ふるさと基金に属する財産の一部を放棄について
☆山形村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
☆山形村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

12月24日

令和3年度 第2回議会臨時会

が開催されました。

議案3件を審議のうえ可決した。

☆職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

☆一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

☆令和3年度山形村一般会計補正予算（第7号）

主な補正は、●住民税非課税世帯等に灯油

等暖房用燃料費助成金

●子育て世帯への臨時特別給付金（追加分）

●商工業事業者コロナ対策応援金

追 加 議 案

☆令和3年度山形村一般会計補正予算（第6号）

尚、請願に対しては、特別委員会を設置

12月9日特別委員会を開き、慎重審議のうえ、賛成多数で採択した。



一般質問

議員10人が 村政を問う

一般質問は12月7日と8日の2日間にわたり行なわれ、議員10人が村政課題を質した。感染防止の観点から「マスク着用」と「議場内の小まめな換気」に心掛け実施した。1

年以上時間短縮対応を行なってきた質問時間については、今回は申し合わせ事項に沿った60分の制限内で行なわれました。

風食対策について

長村 時代の変化への対応と共に風食被害とどう向き合うか



上 倫 司 議員

Q 麦・ソルゴーの播種面積の推移は。年々、麦等の購入

A 費は増加傾向にあるため、播種面積も増加傾向にある。令和2年度は、およそ116haのご協力をいただいた。

Q 風食対策の麦・ソルゴーの栽培指針はあるのか。

A 麦の栽培指針については、長野県ホームページ上に記載されているが、適正な栽培方法については種子の種苗会社等のホームページに掲載されている。

Q 防風林についてどのように考えているか。

A 長期的な計画のもと検討する必要がある方法だと考えている。大きな木によって風食が抑制される反面、木の陰ができるこ

とで農作物の成長に影響を与えてしまうことや広く深く張り巡らされる根つこの問題、また落葉樹の場合は大量の落ち葉の問題も出てくると思われる。さらに村単独で取り組みを行なうだけでは効果が薄いため、近隣の市村と協力し合い進める必要がある。

Q 農家が「ストップ・ザ・風食」という心を育てていくことが大切だと思うが、村長はどうか。

A 地球温暖化などの環境の変化への対応や、スマート農業などの技術の導入などの未来の農業を考えると、山形村のこれからの農業の姿は、時代の変化への対応と共に、風食被害とどう向き合うかが、重要な課題だと農業者が認識していただくことが第一歩だと思ふ。

行政の役割は、2市2村が風食対策を行政の重要な課題として認識し関係するJA・改良区と農業者と共に協働で取り組むことが必要だと考えている。

新型コロナウイルスワクチン接種の今後の予定は

長 3回目は2回目の接種完了から8ヶ月が経過した18歳以上の方を対象に1月末から実施する



百 瀬 章 議員

ザイ製を提供できるか。

Q 10代20代の男性はモデルナ社製のワクチンの副反応で心筋炎などを発症する確率が高いとされているが、ファイ

A 11月の村の接種完了後に塩尻市、朝日村、山形村で調整を行ない、2村の対象者を塩尻市で受け入れてもらうことになった。接種券の送付時に塩尻市への案内を同封し、直接予約を取ってもらう。それ以外の1、2回目の希望者があれば一度村に相談してもらいたい。

Q 厚生労働省は5〜11歳の新型コロナウイルスイルスワクチン接種が早ければ令和4年2月ごろに始まる可能性があるとして、接種体制の準備を自治体に求める事務連絡を出している。実施するとした場合、3回目接種の希望者と時期が重なってしまうが、現時点でどう考えているか。

A 対象となる住民は約500名で、個別接種は行なわないので、実施が決まれば3回目接種と並行して行なう予定である。12〜15歳の優先接種日を設けたのと同様、接種前の相談や接種後の健康観察を小児科医に担当してもらおうことを検討している。

その他、村の経済活動の底上げについて質問した。

行財政改革の取り組みは

村長 研究を進めながら取り組みたい



小出敏裕 議員

Q 村長が考える主な行財政改革の内容は。

A DXなどの時代変化に対応するため、組織機構の見直しと組織だった人材育成が必要。

Q 行政改革推進委員の人数と活動実態は。

A 委員は12人以内。委員会は、行政改革推進の重要事項を調査審議する。

Q 令和2年4月からの庁内組織編成の効果は。

A ふるさと納税、地域おこし協力隊事業、デジタル化などの新しい行政課題に対応している。今後も合理的な組織機構を目指したい。

Q ICT活用の進展具合と現時点での効果は。

A 子育て支援などの行政手続きのオンライン化、マイナンバーカード普及率向上に効果があった。今後も、様々な方面での検討や研究を進める。

Q 部署間や外郭団体との情報共有は。

A 複数の課に跨がる課題は、連携して対応している。他の組織とは、個人情報保護に留意しケースバイケースで対応している。

Q ふるさと納税の実績と今後の方針は。

A 12月2日現在で782件、1千170万2千円。今後は、返礼品の掘り起こしなどで充実を図りたい。

Q バナー広告や郵便物広告の公募予定は。

A 自主財源の確保に向け、今後研究を進める。

Q その他、公共施設などでのバリアフリー化の再考をについて質問した。

公共施設「個別施設計画」の推進方針は

教長 小学校は長寿命化工事を予定し延命を図る



大月 氏夫 議員

Q これまで公共建築物の建替えは、建築後40年程度で更新されるという一定の目安がありました。適切な時期に

「予防保全的な改修」や、「長寿命化改修」を計画的に行なうことで、更新時期の先送りを目指す指向にシフトされてきた。建築後42年の小学校校舎の計画は。

A 令和7年度から8年度に掛けて「長寿命化工事」を計画しており、築後60年に当たる令和27年度には大規模改修を予定している。

Q その他の、計画的に長寿命化改修を図りながら保全する施設の方針は。

A 現場庁舎

現状での不安材料は特段ないが、建物躯体、設備等の診断を実施した上で、長寿命化の改修・整備を検討していく。

山形保育園

老朽化による遊具の更新設置や、熱中症対策のため「砂場に日よけ」の設置を計画。

子育て支援センター すくすく

中庭の「人工芝」張替え改修を予定する。保健福祉センター いちいの里

高圧受電設備の取り替え工事、施設内照明のLED化工事、館内空調設備改修工事を予定。

B&G海洋センター

実施計画に沿って管理棟の改修工事、缶体シートの張替え工事を計画している。

コミュニティ活性化、地域づくり助成金の充実を

長 今年度からコミュニティ活性化事業補助金を部改正
村し、生活環境整備機材等購入事業の対象項目充実



百瀬昇一議員

Q 地域の組織・役割について指導・協力・支援ができないか。

A 役職についてはその負担感から常会や

区への加入率を低下させる一つの要因であり、後継者難という課題につながっていると感じている。これまでに数多くある役職や各団体に対して組織体制や事業の見直しを働きかけ、今後も継続していききたい。

Q コミュニティ活性化のための集落支援員の活用は。

A 今のところは、集落支援員の具体的な導入計画はないが、各区の住民からの要望は多岐にわたり、その負担は年々増加しているように思う。区の要望を聞きながら検討していきたい。

Q 村民力アップには、ふるさと創りが必要である。このことは地域・区では公民館・分館活動が担っている。

A 公民館・分館活動の現状の中で、どのように対応していくか。

A コロナ禍の中、具体的な取り組みができてきたが、公民館の強みを発揮し、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進し、学校との連携強化、地域学校協働活動の拠点としての役割を強化していく在り方を研究・検討を進めていく。

国のデジタル改革と村の対応は

長 オンライン手続きを進めていきたい



三澤一男議員

Q 国はデジタル田園都市国家構想実現のため、デジタル基盤を公共インフラとして地方のデジタル実装を整備し、

政策を総動員し支援するとしたが地域で必要とされるデジタル人材の確保育成が早急に求められるがどう考えているか。

A 国の今後の動向を注視したい。村では、今年デジタル化の方向性を決定する「デジタルトランスフォーメーション会議とデジ

穴観音様前の土砂崩れに対して、今後の復興計画を村としてどう対処するか

長 崩壊箇所は「私有地のため」行政主導の範囲外



竹野入恒夫議員

Q 先の8月14日夜の8時40分頃、お盆の大雨が続く中、四ツ谷にある穴観音様前の古墳拝殿と伴僧坊の前庭が幅15

メートル、高さ20メートル、深さ2メートルの土砂崩れが発生、100メートル下まで流された。かろうじて建物の足元まで1メートル20センチの所で止まっているが、今後大雨になれば、いつ建物が崩れるか、予断を許さない状況である。早速、補正予算にて、土砂崩れ

タル業務に係る、若手職員を中心とした「デジタル化対応委員会」を立ち上げ、研修会等を開催し人材育成を図っている。

Q 行政サービスはデジタル技術やデータを活用住民の利便性を向上させることが求められるが対策は。

A 住民の方が利便性を感じるのには、行政手続きのオンライン化が挙げられると思うが村では既に子育て関連のオンライン申請を行なっている。デジタル技術やサービスは日々進化している。既存の概念にとらわれず、住民の皆様の利便性の向上を図っていく。

Q その他、新型コロナウイルス感染症に伴う主な支援策を質問した。

A の最先端に更なる広がりを抑えるための工事が行なわれた。今後の復興計画をどのようにするかお聞きしたい。

A 山腹の崩落についてはこれ以上進まないように、人命保護の観点から大型の土嚢を積んで崩落防止工事をした。今後の復興計画は、この崩壊箇所は私有地になっているため行政主導で関与していく範囲外という認識である。復興計画については、土地の所有者や穴観音様を代々守っている上竹田地区等関係者が主体となって復興計画を立てることが望ましいと考える。

A その他、他の災害箇所の復興状況・住民からのアプリ投稿の方法の検討・水道管の老朽化について質問した。

ふれあい児童館事業の状況は

村長 毎年20名程度増加し、今後も増加が予想される



大池 俊子 議員

とその傾向は。

A 一般利用は、18歳までの児童で毎月80人程度と、子育てサークルは一団体の利用である。放課後児童クラブは、児童館100名、

トレセンは30名の利用である。

利用傾向は、ここ数年毎年20名程度登録者が増加しており、今後も増加が予想される。また土曜日利用も増加している。

Q コロナ禍で児童館を利用する児童は増えている。さらにトレセンでの第3児童クラブも開かれている。利用状況

A 個別に支援や見守りが必要な児童へは、教育や保育士免許を持つ支援員がサポートしている。

研修会は、支援が必要な児童に特化した研修会は実施していないが、小学校と定期的に

情報交換を行ない、支援員全員で情報共有している。

問題点としては、支援員の確保が充分でない部分もありサポート体制が確保できない日があった。

移行例は、保護者の理解を得ながら放課後デイと放課後児童クラブを併用している児童は1名いる。

その他、区・常会などの地域コミュニティの変化への対応について質問した。

防災行政無線の機能拡充は

村長 「村の新しい情報配信」について検討している



春日 仁 議員

Q 村長2期目に向けた施策の「防災行政無線の転送システム構築」についての進捗状況は。

A 防災情報の発信を強化すべくスマートフォン等への自動転送を行なうシステムの導入について進めてきた。防災行政無線をはじめとする情報伝達の手法については、防災担当と情報政策担当で「村の新しい情報配

Q 現在村の放送を受信可能な世帯は。

A 9月末現在、3、129世帯の内約2、000世帯が受信可能。

信」について検討をしている。新たな情報配信のイメージを作り、今年度の実施計画に計上し、現在は財源探しを進めている。財源の調整さえつければ、来年度予算への計上を検討したい。

Q 村に「危機管理課」といった組織の必要性は。

A 組織体制、人事に関する部分であり、危機管理課の新設については状況を見極めて、十分に検証する必要があると考えている。

Q 村全体をカバーする防災倉庫の必要性は。

A 糸魚川・静岡構造線断層帯の地震による避難所避難者数245人を最大とし、1人1日3食として245人の3日分、計2、205食を備蓄することを目標としている。この備

蓄数を保管するには現在の収納スペースでは足りないため、新たな防災倉庫の建設が必要だと考えるが、用地の選定等、十分に検討していく必要があると思う。

その他、妊婦の歯科検診・おたふく風邪ワクチンについて質問した。



サンクスBBの2棟目の埋設完了時期は
令和15年までは利用可能である



小林幸司 議員

Q 今後の利用計画はあるのか、例えば第3棟目の計画は。

A 平成9年ころの当初計画では、第3期

棟施設の配置は「予定」と表記するに留まっている。時代はまさに埋め立てを極力減らして資源化を進める動きに大きく方向転換しているので第3期棟の建設計画には全く手を付けていない。

Q 埋設終了後の跡地利用の計画はされているのか。

A 具体的な計画やスケジュールはない。当初からの公園整備が想定されており「持続可能」が叫ばれている時代にあって全体事業完了後の姿については、しかるべき時期に時代に合った利用方法を地域の皆さんと一緒に研究していくべきであると考えている。

『山林資源の有効活用と保全について』

Q 鳥獣防止柵設置と伐採適期のカラマツの利用について。

A 鳥獣防止柵については平成27年に検討委員会を設けて検討されたが、費用対効果や有効性管理方法など異論が多く、実施が困難であると判断し現在は電気柵の利用に補助金を出している。また、伐採適期のカラマツの利用については採算に至らない状況なので今後も森林組合や関係機関との情報共有を図っていききたいと考えている。

危機感を持って事業承継を考える必要がある

山形村三団体懇談会

農業委員会・JA松本ハイランド山形支所・村議会の三団体懇談会が12月15日に開催されました。

『農業における事業承継について』と題して、JA長野中央会主任調査役の春日園佳氏のご講演を受けました。

農業従事者の高齢化や49歳以下の人口減少などで家族経営が圧倒的に多いなか、後継者不足などで事業承継が難しいケースも多く、日頃からあらゆる面で承継のための準備が必要であることなどのお話をいただきました。

村の基幹産業である農業を維持していくために重要な課題であることを認識しました。



『自分は大丈夫』とは思わない

区三役・議会議員 合同研修会

本年度の研修会は11月25日に、『山形村の自然災害と防災気象情報の活用』と題して行なわれました。

当日は、気象庁長野地方気象台防災管理官の和泉裕幸氏にお越しいただき、山形村や県内各地で過去に起こった自然災害を地震・火山・大雨大雪・台風などに分けて事例を元に災害のリスクのお話をいただき、それぞれが防災気象情報をできる範囲で入手して活用することなどを教えていただき、それぞれが自分のこととして考え、災害に向き合う姿勢を改めて認識しました。今後の災害時に活かしていければと思います。

私の一言

2021年の状況と

2022年に向けて

スカイランドきよみず 支配人

森末泰寛



2021年もいろいろなことがありました。

新型コロナウイルスの猛威による度重なる緊急事態宣言、コロナ禍におけるオリンピックの開催、日本選手の活躍、ワクチン接種の本格稼働、リアル二刀流の大谷翔平選手の活躍、菅内閣に代わって岸田内閣発足など悲喜こももでした。

宿泊業界に目を向けますと、やはり新型コロナウイルスの脅威が影を落とした始まりとなり厳しい状況が続きました。スカイランドきよみずにおいても、オリンピックが始まるまでは、ご多分に漏れず厳しい状況でございました。お盆期間中も豪雨災害の影響を受けまして非常に鈍い予約状況でしたが、全国的なコロナ感染者数の減少傾向による緊急事態

宣言の解除や秋の行楽シーズンも重なり、徐々に予約も増加しました。また、長野県独自の事業「県民支えあい 信州割SPECI AL」の後押しもあり週末を中心に予約が好調に推移している状況でございます。また、山形村の「村民宿泊助成金」との併用も可能であるため、日頃の疲れを癒しにご入浴やご宿泊にスカイランドきよみずをご利用いただければ幸いです。

まだまだ、マスクを外した日常には戻っていませんが、2022年は善光寺の御開帳や御柱祭など長野県が注目されます。スカイランドきよみずといたしましても、皆様に安心・安全にご利用できるホテルとして、従業員一同皆様のご来館をお待ちしております。



編集後記

私は正月は駅伝を毎年応援しています。選手の頑張りやチームの絆を感じることに、今年も頑張ろうと思います。

令和3年は日本の若者の活躍はすごかった。ゴルフのマスターズの優勝や、ピッチャーとバッターの二刀流をしながらホームラン王争いもすごかった。コロナ禍で行なわれた東京オリンピック、パラリンピックでメダルラッシュを起こしたオリンピックはすごかった。山形村出身の若者も、スポーツや文化活動で活躍しています。応援しましょう。

まもなく冬季オリンピックが始まります。握りこぶしで応援するとアドレナリンがたくさん出ますのでお試しあれ。

注意・オミクロン株が拡大しています。必要以上に恐れず感染対策を取りましよう。

(上條 倫司)

発行責任者

議長 三澤 一男

議会広報編集特別委員会

委員長 上條 倫司

副委員長 小林 幸司

委員 春日 仁

委員 新居 禎三

委員 大月 民夫

委員 福澤 倫治

